

本人の意欲が上がり、 要介護3から要介護1になった事例

株式会社 華輪

ケアプランかりん

高野 昌子

鈴木 美代子

利用者情報

- ▶ 氏名：M.Mさん（女性） S.13.1.21 生まれ（81歳）
- ▶ 出身地：新潟県
 - 明るく前向きな人柄で、周りを和ませる性格。
 - きれい好き。
- ▶ 既往歴：2型糖尿病、高血圧、変形性膝関節症

支援経過

- ▶ 平成28年8月・・・要支援1の認定
 - 同年10月より、リハビリ特化型デイサービスに週2回利用開始となる。
- ▶ 平成30年5月6日・・・入院
 - 原因：入浴中に意識消失する。
これに伴い、低栄養・脱水・肺炎・熱中症・脳梗塞が発症する。

▶ 平成30年8月10日・・・退院

- 退院時の介護認定は、要介護3となる。
- 日常生活動作（ADL）の低下や、記憶力・判断力の低下、歩行不安定による転倒の危険リスクが大きく、身の回りの事を行う事が難しい理由からである。また、膀胱の収縮機能が著しく低下し、1日3回の導尿が必要となる。
- 入院中に大量の下血がありANCA関連血管炎の診断結果が下りた。

【退院後の生活】

▶ 平成30年8月13日

- リハビリ特化1日型デイサービスを週6日にて利用を開始する。

《デイサービスの特徴》

- ①機能訓練指導員による個別機能訓練プログラムの実施。
- ②機能訓練指導員による可動域訓練やストレッチ運動の実施。
- ③入浴や昼食を提供し、午後にはレクリエーション活動を実施。
- ④手段的日常生活動作（IADL）向上機能訓練プログラムの実施。

意欲の向上

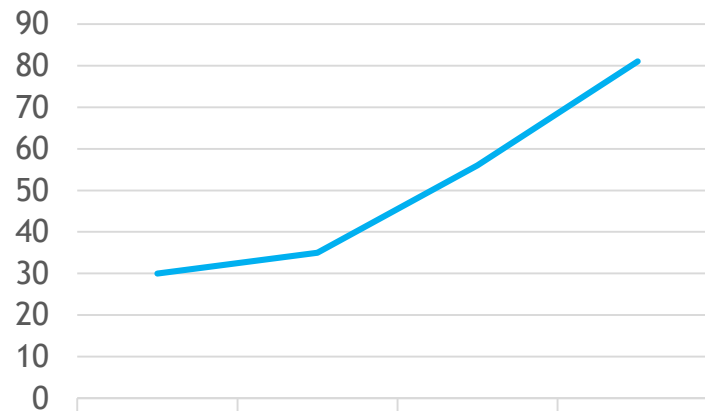
- ▶ デイサービスを利用する事により、日々の個別機能プログラムを実施する事で、ADLの向上がみられる。
- ▶ 日常生活において、退院直後は家事全般を実施する意欲が殆ど見受けられなかったが、少しずつ『洗濯物をたたむ』等の家事が出来るようになる。
- ▶ デイサービスでの入浴時には、自分自身の意思にて更衣が出来るようになる。
- ▶ デイサービス利用時には、職員の声掛けにて、利用者みんなで楽しく行うレクリエーションやカラオケ等の娯楽活動に、意欲的に参加出来るようになる。

握力(左右) (kg)



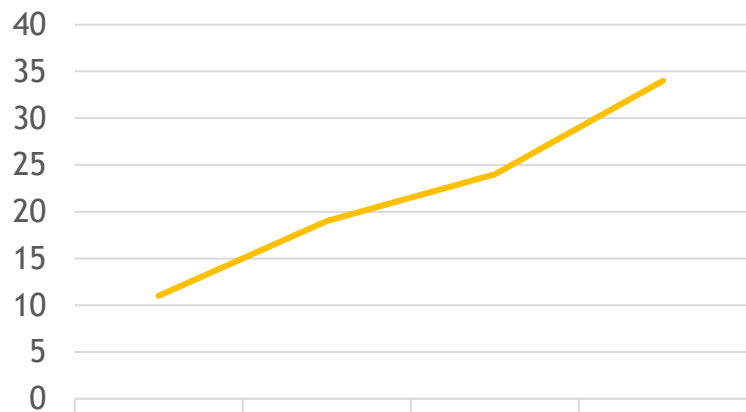
	6/3(月)	8/1(木)	10/1(火)	12/3(火)
握力(右)	12	14	16	18
握力(左)	9	14	15	15

レッグプレス (kg)



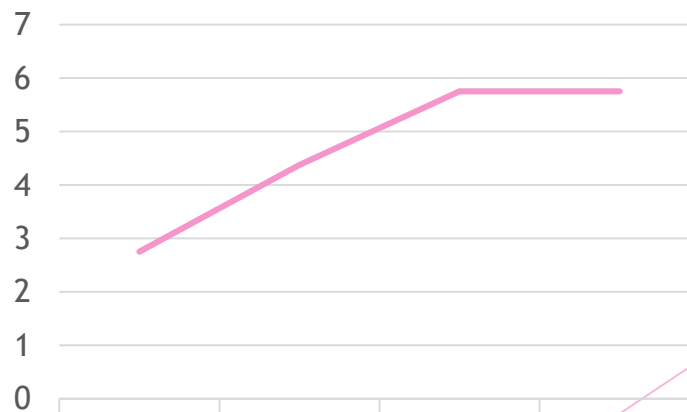
	6/3(月)	8/1(木)	10/1(火)	12/3(火)
レッグプレス	30	35	56	81

ローイング (kg)



	6/3(月)	8/1(木)	10/1(火)	12/3(火)
ローイング	11	19	24	34

歩行速度 (sec)



	6/3(金)	8/1(木)	10/1(火)	12/3(火)
ポイント	2.75	4.375	5.75	5.75

在宅生活における支援経過

- ▶ 令和1年6月より
デイサービスの利用日数を週5日に変更
- ▶ 同年7月より
デイサービスの利用日数を週4日に変更
- ▶ 同年7月24日より
訪問介護サービスを週1回利用開始
- ▶ 同年8月中旬より
デイサービス 週3回
訪問介護 週1回にて利用変更となる

ヘルパーさんと一緒に家事を実施する事によって、家で出来る事が更に増えるようになった事柄

- ▶ ゆで卵を作ったり、柿を剥いて食べる事が出来るようになった。
- ▶ 仏壇に、水とご飯を備える事が出来るようになった。
- ▶ ベッド上の布団やシーツを整える事が出来るようになった。
- ▶ 失禁により1日4回のリハビリパンツを交換する事があったが、失禁が無くなり更衣は1日1回になった。
- ▶ 自分の事は、自分自身でやろうとする意欲が向上した。
- ▶ ヘルパーさんと一緒に家事をするようになった。
- ▶ 会話が弾み、ヘルパーさんに冗談を言うようになった。

心身ともに状態が良くなった為、
適切な介護認定

令和1年10月 区分変更申請

要介護3

要介護1

2段階
UP

さらに本人の意欲が **UP** する。

本人の言葉

お風呂で倒れた事があったが、
デイサービスに通うことによって、お風呂に入ったり、
リハビリをしたり、気心の知れた仲間とお話ししたり、
そして、カラオケをしたり。
毎日を楽しく過ごした事で、私自身の気力が出てきて
体力を付ける事が出来ました。

どれもこれも、皆様のおかげです。
私ひとりの力ではとてもダメでした。

90歳なんてすぐ！

100歳まで元気に過ごしたい！！